

目 次

第1章 計画の策定

1	策定の趣旨	1
2	計画の位置付け	2
3	計画の対象	3
4	計画の期間	3
5	廃棄物処理計画と市町計画との関係	3

第2章 廃棄物処理の現状と課題

第1節	これまでの取組	4
1	第4次計画の主な取組	4
(1)	視点1 資源循環を基本とした社会づくり	4
(2)	視点2 適正かつ効率的・安定的な廃棄物処理を支える社会づくり	4
(3)	視点3 環境に配慮した行動が広がる社会づくり	5
2	施策の実施状況を評価するための指標	6
第2節	減量化目標の達成状況	7
1	一般廃棄物（ごみ）	7
(1)	排出量	7
(2)	再生利用量	7
(3)	最終処分量	7
2	産業廃棄物	8
(1)	排出量	8
(2)	再生利用量	8
(3)	最終処分量	8
第3節	一般廃棄物の現状と課題	9
1	一般廃棄物の現状	9
(1)	ごみの現状	9
(I)	ごみ処理の流れ	9
(II)	ごみの排出状況	9
(III)	ごみの処理状況	10
(IV)	ごみの再生利用等の状況	10
(V)	ごみの最終処分の状況	12
(VI)	ごみ処理経費の状況	13

(VII) ごみ処理施設の整備状況	14
(VIII) ごみ処理の広域化の状況	15
(IX) 不法投棄の状況	16
(X) 海岸漂着物におけるプラスチックごみの種類別割合	16
(2) 汚水処理	18
(I) 汚水処理の状況	18
(II) し尿等の流れ	18
(III) 水洗化・非水洗化人口推移	19
(IV) し尿等の排出状況	19
(V) し尿等の処理状況	20
(VI) し尿処理施設の整備状況	20
(VII) 浄化槽の整備状況	20
(VIII) 浄化槽の法定検査の受検状況	21
2 一般廃棄物の課題	22
(1) 排出量	22
(2) 再生利用量	22
(3) 最終処分量	22
第4節 産業廃棄物の現状と課題	23
1 産業廃棄物の現状	23
(1) 排出量等の推移	23
(2) 排出の状況	24
(3) 再生利用の状況	24
(4) 最終処分の状況	26
(5) 最終処分場の施設数及び残余容量の推移	27
(6) 不法投棄の状況	28
(7) 産業廃棄物の広域移動の状況	28
(8) 電子マニフェスト普及の状況	29
2 産業廃棄物の課題	30
(1) 排出量	30
(2) 再生利用量	30
(3) 最終処分量	30
第5節 廃棄物処理を取り巻く社会情勢の変化	31
1 環境全体に関する社会情勢の変化	31
2 循環型社会の形成に関する社会情勢の変化	32

第3章 計画の基本的方向性

第1節	本計画における新たな視点・ポイント	34
第2節	目指す姿	36
1	目指す姿	36
第3節	減量化目標の設定：一般廃棄物（ごみ）	38
1	将来推計	38
2	減量化目標	38
3	減量化目標の設定の考え方	39
(1)	排出量	39
(2)	再生利用量	39
(3)	最終処分量	39
第4節	減量化目標の設定：産業廃棄物	40
1	将来推計	40
2	減量化目標	40
3	減量化目標の設定の考え方	41
(1)	排出量	41
(2)	再生利用量	41
(3)	最終処分量	41

第4章 施策の展開

第1節	新たな視点・ポイントによる横断的施策	42
1	デジタル技術を活用した資源循環の促進	43
(1)	AI ロボット等の自動選別技術によるリサイクルの徹底	44
(2)	電子マニフェストによる廃棄物トレーサビリティの強化	44
(3)	センサー・通信技術による廃棄物保管・回収の効率化	44
(4)	廃棄物処理に関するビッグデータの活用	44
2	プラスチック対策の推進	45
(1)	プラスチックごみの排出抑制の推進	46
(2)	プラスチック回収体制の強化	46
(3)	プラスチックリサイクル施設の整備促進	46
(4)	海洋プラスチックごみの環境汚染対策	46
3	適応力のある〔レジリエントな〕廃棄物処理体制の構築	47
(1)	災害廃棄物処理体制の強化	48
(2)	廃棄物処理施設のエネルギー拠点としての活用	48

(3) 新製品・新素材の普及に対応したリサイクル技術研究開発の推進	48
第2節 施策体系	49
領域1 資源循環サイクルを拡大させた社会づくり	49
1 廃棄物の排出抑制・再使用の推進	50
(1) 生活系ごみの減量化の推進	51
(2) 事業系ごみの減量化の推進	51
(3) プラスチックごみの排出抑制の推進（再掲）	52
(4) 2R（リデュース、リユース）の推進	52
(5) 産業廃棄物の排出抑制、減量化等の支援	52
(6) 多量排出事業者における減量化計画の策定指導	52
(7) 産業廃棄物埋立税制度の活用	52
2 一般廃棄物の徹底的な資源循環	53
(1) 分別排出の徹底の推進	53
(2) プラスチック回収体制の強化（再掲）	53
(3) センサー・通信技術による廃棄物保管・回収の効率化（再掲）	54
(4) 焼却灰のリサイクル	54
(5) 各種リサイクル法の推進	54
3 産業廃棄物の徹底的な資源循環	55
(1) リサイクル施設整備の促進	56
(2) AI ロボット等の自動選別技術によるリサイクルの徹底（再掲）	56
(3) プラスチックリサイクル施設の整備促進（再掲）	56
(4) リサイクル技術研究開発の促進	56
(5) 新製品・新素材の普及に対応したリサイクル技術研究開発の推進（再掲）	56
(6) 建設廃棄物のリサイクルの推進	57
(7) 農業系廃棄物、下水汚泥のリサイクルの推進	57
4 リサイクル製品の利用促進による資源循環	58
(1) リサイクル製品の利用促進	58
(2) リサイクル技術研究開発の促進（再掲）	58
5 低炭素社会への取組の推進	59
(1) ごみ焼却施設等における高効率発電の導入促進	59
(2) 福山リサイクル発電事業の推進	60
(3) 廃棄物処理施設のエネルギー拠点としての活用	60
(4) プラスチック資源の利用拡大（再掲）	60
領域2 適正かつ効率的・安定的な廃棄物処理を支える社会づくり	61

1	廃棄物の適正処理・不法投棄対策の推進	62
	(1) 一般廃棄物の適正処理の推進	63
	(2) 産業廃棄物の適正処理の推進	63
	(3) マニフェスト制度による適正処理の推進	64
	(4) 電子マニフェストによる廃棄物トレーサビリティの強化（再掲）	64
	(5) 有害産業廃棄物の適正処理の推進	64
	(6) 不法投棄監視体制の強化	65
	(7) 地区不法投棄等防止連絡協議会の活動強化	65
	(8) 市町と県の連携	66
2	廃棄物処理施設の確保・維持管理	68
	(1) 効率的・安定的な一般廃棄物処理体制の確保	68
	(2) 処理施設の設置・運営に係る厳正な審査・指導	69
	(3) 公共関与による安定的な処理体制の確保	69
	(4) 地域住民との合意形成の推進	70
	(5) 埋立終了した最終処分場及び処分場跡地の安全対策の推進	70
3	災害廃棄物対策の推進	71
	(1) 広域的な相互協力体制の整備	71
	(2) 災害廃棄物処理体制の強化（再掲）	72
4	海ごみ対策の推進	73
	(1) 海洋プラスチックごみの環境汚染対策（再掲）	73
5	生活排水対策（し尿等）の推進	74
	(1) 下水道等の整備の推進	74
	(2) 浄化槽の整備の推進	75
	(3) 浄化槽の適正な管理の推進	75
領域3	資源循環サイクルの基盤となる人づくり・仕組みづくり	77
1	環境意識の向上及び自主的行動の推進	78
	(1) 「ひろしま環境の日」「環境月間」「3R推進月間」等を通じた啓発の実施	78
	(2) 学校・地域や職場などにおける環境学習の推進	79
	(3) 自主的活動の取組支援	79
	(4) 県の率先した取組	79
2	資源循環産業の育成	80
	(1) 優良な産業廃棄物処理業者の育成	80
	(2) リサイクル産業創出に係る人材育成	81
	(3) 廃棄物処理に関するビッグデータの活用（再掲）	81

第5章 計画の推進

第1節 計画の推進体制及び進行管理	82
1 推進体制	82
2 進行管理	82
第2節 各主体の役割	85
1 共通の役割	85
2 県民の役割	85
3 排出事業者の役割	85
4 廃棄物処理業者の役割	86
5 関係団体の役割	86
6 市町の役割	86
7 県の役割	87

資料編

目次

1 一般廃棄物	90
2 産業廃棄物	102
3 廃棄物部門における地球温暖化対策の状況（広島県地球温暖化防止地域計画からの抜粋）	105
4 循環型社会形成	106
5 第5次広島県廃棄物処理計画の策定の経緯	108
6 用語集	110